

防整施第7112号
28.3.31

大臣官房会計課長
地方協力局施設管理課長
防衛大学校総務部会計課長
防衛大学校総務部管理施設課長
防衛医科大学校事務局経理部経理課長
防衛医科大学校事務局経理部施設課長
防衛研究所企画部総務課長
統合幕僚監部総務部総務課長
陸上幕僚監部監理部会計課長
陸上幕僚監部防衛部施設課長
海上幕僚監部総務部経理課長
海上幕僚監部防衛部施設課長
航空幕僚監部総務部会計課長
航空幕僚監部防衛部施設課長
情報本部総務部会計課長
防衛監察本部総務課長 殿
各地方防衛局総務部長
北海道防衛局管理部長
東北防衛局企画部長
北関東防衛局管理部長
南関東防衛局管理部長
近畿中部防衛局管理部長
中国四国防衛局企画部長
九州防衛局管理部長
沖縄防衛局管理部長
各地方防衛局調達部長
帯広防衛支局長
東海防衛支局長
熊本防衛支局長
名護防衛事務所長
防衛装備庁長官官房会計官

整備計画局施設計画課長
(公印省略)

建設工事に係る技術業務の契約等における総合評価落札方式の実施細則の運用について（通知）

標記について、建設工事に係る技術業務の契約等における総合評価落札方式の実施細則について（防整施第6924号。28. 3. 31）に基づき別紙のとおり定めたので、遺漏のないよう措置されたい。

なお、建設工事に係る技術業務の契約等における総合評価落札方式の実施細則の運用について（防整施第17559号。27. 10. 1）は、平成28年3月31日限りで廃止する。

添付書類：別紙

写送付先：整備計画局施設整備官、提供施設計画官、施設技術管理官

建設工事に係る技術業務の契約に係る総合評価落札方式の実施細則の運用

1 総合評価タイプの適用について

- (1) 標準型（1：3）は、技術提案を求めることにより品質向上が期待できる技術的工夫の余地が特に大きい技術業務。
- (2) 標準型（1：2）は、技術提案を求めることにより品質向上が期待できる技術的工夫の余地が大きい技術業務。
- (3) 簡易型は、実施方針や実施手順等の工夫により成果の品質や作業の安全性等の向上が期待できる技術業務。

2 技術提案の評価について

総合評価の評価項目のうち、技術提案の評価については、防衛省発注機関の審査委員会の長（建設工事等の技術的事項に関する事務を行うために設置する技術部会が設置されている場合は技術部会の長）が業務の内容を勘案の上、指名する者により行うものとする。

3 技術提案等評価結果の整理及び保存について

総合評価落札方式を適用した案件の技術提案等評価の審査において、標準型の場合は付表第1、第3及び第5により、簡易型の場合は付表第2、第4及び第6により評価結果を整理するものとし、作成した文書については、防衛省行政文書管理規則（平成23年防衛省訓令第15号）に基づき、作成した課において保存するものとする。

4 技術提案等評価結果整理表の報告について

総合評価落札方式により落札者を決定した場合、標準型においては付表第1、第3及び第5、簡易型においては付表第2、第4及び第6を取りまとめ、整備計画局施設計画課長に報告するものとする。

また、履行確実性総合評価の対象業務の場合は、履行確実性度とその審査結果が分かる資料を添付することとする。

なお、報告は毎月実施することとし、毎月末日までに契約締結した案件について、翌月10日までに報告することとする。

5 その他

本運用により難しい場合は、整備計画局施設計画課長と協議するものとする。

技術提案等評価結果整理表 1 (標準型用)

業務の名称：〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇業務

標準型のタイプ (1 : ●) 【タイプを記載する。】

評価項目	評価の着目点	評価の配点(点)	〇〇社	〇〇社	〇〇社	〇〇社	・・・	
企業の実績及び能力	業務実績	業務実績 (同種又は類似業務)	15					
		地域業務実績	5					
	成績・表彰	業務成績	30					
		優秀業務表彰	5					
	その他	事故及び不誠実な行為	0					
		国との信頼関係を損なう行為	0					
配置予定管理技術者の経験及び能力	業務経験	業務経験 (同種又は類似業務)	10					
		地域業務経験	5					
	成績・表彰	業務成績	30					
		優秀業務表彰	5					
	資格要件 (業務内容に応じ適宜設定)	技術者資格 (建築)	5					
		技術者資格 (土木設計)	5					
		技術者資格 (土木監理)	5					
		技術者資格 (電気設備)	5					
		技術者資格 (機械設備)	5					
		技術者資格 (通信設備)	5					
		技術者資格 (測量)	5					
技術者資格 (地質調査)		5						
技術者資格 (その他)	5							
配置予定担当技術者の経験	業務経験	業務経験 (同種又は類似業務)	5					
		地域業務経験	5					
業務の実施方針・実施フロー・工程計画・その他	業務理解度	20						
	実施手順	20						
	その他	10						
評価テーマに対する技術提案	※全体	20						
	評価テーマ 1	60						
	※評価テーマ 2	60						
技術評価点合計								
技術評価点 (60点満点換算)		60						

注 1 は、必要に応じて設定する。

2 本表は、入札参加者数に応じて適宜列数を増減する。

3 ※は、評価テーマを1つ(標準型 (1:2)) に設定した場合は選択しない。

4 技術評価点 (60点満点換算) は、小数点第4位を切り捨てし小数点第3位とする。

技術提案等評価結果整理表 1 (簡易型用)

業務の名称：〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇業務

評価項目	評価の着目点		評価の配点(点)	〇〇社	〇〇社	〇〇社	〇〇社	・・・
企業の実績及び能力	業務実績	業務実績 (同種又は類似業務)	15					
		地域業務実績	5					
	成績・表彰	業務成績	30					
		優秀業務表彰	5					
	その他	事故及び不誠実な行為	0					
		国との信頼関係を損なう行為	0					
配置予定管理技術者の経験及び能力	業務経験	業務経験 (同種又は類似業務)	10					
		地域業務経験	5					
	成績・表彰	業務成績	30					
		優秀業務表彰	5					
	資格要件 (業務内容に応じ適宜設定)	技術者資格 (建築)	5					
		技術者資格 (土木設計)	5					
		技術者資格 (土木監理)	5					
		技術者資格 (電気設備)	5					
		技術者資格 (機械設備)	5					
		技術者資格 (通信設備)	5					
		技術者資格 (測量)	5					
技術者資格 (地質調査)	5							
技術者資格 (その他)	5							
配置予定担当技術者の経験	業務経験	業務経験 (同種又は類似業務)	5					
		地域業務経験	5					
業務の実施方針・実施フロー・工程計画・その他	業務理解度	20						
	実施手順	20						
	その他	10						
技術評価点合計								
技術評価点 (60点満点換算)								

注 1 は、必要に応じて設定する。

2 本表は、入札参加者数に応じて適宜列数を増減する。

3 技術評価点 (60点満点換算) は、小数点第4位を切り捨てし小数点第3位とする。

技術提案等評価結果整理表 2 (標準型用)

業務の名称：○○ (○○) ○○○○業務

(○社)

評価項目	評価の着目点	評価者A	評価者B	評価者C	評価者D	評価者E	評価点 (平均点)	評価の配点 (点)		
		評価点	評価点	評価点	評価点	評価点				
業務の実施方針・ 実施フロー・工程 計画・その他	業務理解度							10		
								10		
	小 計							20		
	実施手順								10	
									10	
	小 計							20		
	その他								10	
評価テーマ に対する技術提案	※全体	評価テーマ間 の整合性							10	
									10	
	小 計								20	
	評価 テーマ 1	的 確性							10	
									10	
									5	
									5	
		実 現性								10
										10
								5		
	小 計								5	
									5	
	小 計								最大60	
	※評価 テーマ 2	的 確性							10	
									10	
									5	
									5	
実 現性									10	
									10	
							5			
小 計								5		
								5		
小 計								最大60		
合 計										

注 1 は、必要に応じて設定する。

2 ※は、評価テーマを1つ(標準型 (1:2)) に設定した場合は選択しない。

3 評価は5名以上の評価者で行うものとし、評価点(平均点)は、評価者の評価のうち最上位者のものと最下位者のものを各1名除外し、3名以上の評価点を平均して算出する。5名未満の評価者で評価を行う場合は、評価点を平均して算出する。

4 評価点(平均点)は、小数点第3位を切り捨てし小数点第2位とする

技術提案等評価結果整理表 2 (簡易型用)

業務の名称：○○ (○○) ○○○○業務

(○社)

評価項目	評価の着目点	評価者A	評価者B	評価者C	評価者D	評価者E	評価点 (平均点)	評価の配点 (点)
		評価点	評価点	評価点	評価点	評価点		
業務の実施方針・ 実施フロー・工程 計画・その他	業務理解度							10
								10
	小 計							20
	実施手順							10
								10
	小 計							20
	その他							10
	合 計							

注 1 評価は5名以上の評価者で行うものとし、評価点(平均点)は、評価者の評価のうち最上位者のものと最下位者のものを各1名除外し、3名以上の評価点を平均して算出する。5名未満の評価者で評価を行う場合は、評価点を平均して算出する。

2 評価点(平均点)は、小数点第3位を切り捨てし小数点第2位とする

技術提案等評価結果整理表3（標準型用）

(評価者A：○○○○)

業務の名称：○○(○○)○○○○業務

(○社)

評価項目	評価の着目点		評価点 (点)	提案の評価理由	
		判断基準			
業務の実施方針・ 実施フロー・工程 計画・その他	業務理解度	業務の実施方針となる目的・内容及び与条件の理解度が高い場合は優位に評価する。			
		上記業務目的等を踏まえた検討項目及び成果品に対する着眼点の具体性が高い場合は優位に評価する。			
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合は優位に評価する。			
		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合は優位に評価する。			
その他	有益な代替案、重要事項の指摘がある場合は優位に評価する。				
評価 テーマ に対する 技術 提案	※全体	評価テーマ間の整合性	的確性について、複数の特定テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価する。		
		実現性について、複数の特定テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価する。			
	評価 テーマ 1	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合は優位に評価する。		
			必要なキーワード（着眼点、問題点、解決方法等）が網羅されている場合は優位に評価する。		
			事業の重要度を考慮した提案となっている場合は優位に評価する。		
			事業の難易度に相応しい提案となっている場合は優位に評価する。		
		実現性	提案内容に説得力がある場合は優位に評価する。		
			提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合は優位に評価する。		
			利用しようとする技術基準、資料が適切な場合は優位に評価する。		
			提案内容によって想定される事業費が適切な場合は優位に評価する。		
		独創性	工学的知見に基づく前例のない提案がある場合は優位に評価する。		
			周辺分野、異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合は優位に評価する。		
			複数の既存技術を統合化する提案がある場合は優位に評価する。		
			新工法採用の提案がある場合は優位に評価する。		
		※評価 テーマ 2	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合は優位に評価する。	
				必要なキーワード（着眼点、問題点、解決方法等）が網羅されている場合は優位に評価する。	
事業の重要度を考慮した提案となっている場合は優位に評価する。					
事業の難易度に相応しい提案となっている場合は優位に評価する。					
実現性	提案内容に説得力がある場合は優位に評価する。				
	提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合は優位に評価する。				
	利用しようとする技術基準、資料が適切な場合は優位に評価する。				
	提案内容によって想定される事業費が適切な場合は優位に評価する。				
独創性	工学的知見に基づく前例のない提案がある場合は優位に評価する。				
	周辺分野、異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合は優位に評価する。				
	複数の既存技術を統合化する提案がある場合は優位に評価する。				
	新工法採用の提案がある場合は優位に評価する。				
合 計					

- 注 1 [] は、必要に応じて設定する。
 2 ※は、評価テーマを1つ(標準型(1:2))に設定した場合は選択しない。
 3 評価者の役職及び氏名を明記する。
 4 ヒアリングを実施した場合は、ヒアリング内容を含めて評価する。

技術提案等評価結果整理表3（簡易型用）

(評価者A：○○○○)

業務の名称：○○(○○)○○○○業務
(○社)

評価項目	評価の着目点		評価点 (点)	提案の評価理由
	判断基準			
業務の実施方針・ 実施フロー・工程 計画・その他	業務理解度	業務の実施方針となる目的・内容及び与条件の理解 度が高い場合は優位に評価する。		
		上記業務目的等を踏まえた検討項目及び成果品に対 する着眼点の具体性が高い場合は優位に評価する。		
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合 は優位に評価する。		
		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場 合は優位に評価する。		
	その他	有益な代替案、重要事項の指摘がある場合は優位に 評価する。		
合 計				

- 注 1 評価者の役職及び氏名を明記する。
2 ヒアリングを実施した場合は、ヒアリング内容を含めて評価する。